

株式会社どすこい

児童発達支援・放課後等デイサービス 支援プログラム

A-13 森の階段作り

■「一人一人にそれぞれのフツウ」

■自分で感じ・考え・選び・決める・行動する

■視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
参加者募集	<p>■フィールド内で滑りやすくなっている箇所、みんなの歩行によって土砂が崩落している箇所等に子どもたちを案内し■「事故を未然に防ぐため、補修の必要がある」「補修の方法として階段を作りたい」「自分たちの身は自分たちで守るのと同じように、お借りしている森は自分たちで守りたい」「一緒に階段を作ろう」とスタッフから子どもたちに参加を要請する。</p>			<p>■左記要請に対して、子どもたち一人一人から参加の意志があるか否かを確認する。できればその理由も発言してもらう。■希望者だけで階段作りチームを組織。■最初は見てるだけの子や、違う遊びをしている子が、途中で手伝いたいと希望した場合の参加もOK。</p>		<p>■オープンフィールドのメニューに組み入れ、ご家族と一緒に森を探検する。</p> <p>■地主さんとの契約、地域のご理解があって、探検が可能となっていることを確認する。■探検ルートでは、子どもたちが「自分たちがやりたいことなら何でも許される」わけではないことを確認する。■万一、契約に違反したり、地域に損害を与えるようなことをした場合は、フィールドとしてお借りすることも活動を続けることも出来なくなることも確認する。■地主さん、地域のみなさんへの感謝を忘れず活動を続けていくことも共有する。■森の環境整備を地域イベントとして発信し、地主さんや地域のみなさんにも参加していただき、交流を図る。</p>	
必要機材の準備	<p>■右記⑤服装チェックリストに準じて、服装を整える。</p>		<p>■作業に必要な服装、道具について考える。</p>	<p>■自分の考えを言葉にして他者に伝える。■他者の意見を聴く</p>	<p>■服装チェックリストを作成する。(ヘルメット必須) ■機材リストを作成する。■機材を調達する。</p>		
安全についての注意	<p>■自分と仲間の安全を確保する。■水分補給・体温調節・休憩を適宜。</p>		<p>■鋸・鉈・鎌・カケヤ・スコップ：杭など、手道具の使い方についてスタッフから注意事項を聴く。■切傷、打撲、骨折などの危険があることを理解する。</p>	<p>■「怪我をしない・怪我をさせない」ために言葉によるコミュニケーションが非常に重要であることを理解し、実践する。■(例1)作業中の人の傍を通りたいときは「通ります」。作業を中断してもらい「どうぞ」と言われたら、「有難うございます」といって通る。■(例2)道具を手渡すとき、渡す側は「ハイ」といって(刃を自分の側に向けて)差出し、受け取る側は確実に自分で保持した上で「取った」という。</p>			
作業① 整地		<p>■階段敷設場所を整地する。■剣スコップ・鍬・ツルハシ・根切りを使用する。■道具の使う際はスタッフの指示に従う。</p>					
作業② 杭・横木作り		<p>■杭を作る(階段の段数×2本)。■鋸・鉈・作業台(丸太椅子)を使用する。■横木を作る(階段の段数分)。■鋸を使う。■道具を使う際はスタッフの指示に従う。</p>					
作業③ 杭打ち・ステップ敷設(敷葉工法)		<p>■最下段から始める。■杭を打ち込む。杭の保持にはスコップ持ち手を利用する。■カケヤ・スコップを使用する。■杭と杭の間に、且つ滑り止めとして機能する箇所に横木を据える。■横木とステップの間(横木の前後・真下)には、小枝・朽ち木破片・落ち葉を詰め込み菌糸の繁殖を促す。■土を削ってステップを均す。■ステップは土/落ち葉/土の三層構造にしておくこと菌糸が繁殖して安定する。■ステップは下段側・谷側に傾かないように留意する。■ステップ上面は隙間なく土を踏み締めて平坦に仕上げる。■以上を繰り返し、階段を完成させる。■完成した階段を、全員で歩いて安全確認を行う。■不備があれば修正する。■道具を使う際はスタッフの指示に従う。</p>					
片付け		<p>■使用した土工具は泥を落とす。■鋸はヤニを落とし・錆止め塗布。■借りた本数を確認し、決められた場所に返却する。</p>	<p>■左記メンテナンス作業が上手いかないときは助けを求める。■困っている子がいたら助ける。■返却の際、スタッフに状態や本数を確認してもらう。■不備があればやり直す。</p>				

<p>ミーティング (振り返り・記録)</p>			<p>■個々に、階段作りで気付いたこと・発見したこと・感動したことなどを振り返る。■これらを言葉にして他者に伝える。■他者の発言を聴く。</p>	<p>■個々の振り返りの共有。■今後の探検に資する情報は、毎回「フィールド作業記録」に書き残す。</p>	<p>■ご家族にもミーティングに参加していただく。■ご家族からの感想やご意見を聴く。</p>	
-----------------------------	--	--	--	--	--	--